

精神科医療における共同意思決定を目指して

「共同意思決定」という言葉を聞いたことはありますか？

夏苺先生は、「自らの当事者・家族としての経験で最もありがたいと思ったのは、人生の節目節目における決定に担当医も一緒に考えてくれる行為だった。リカバリーといった抽象的な言葉ではなく実際の生活での困り事を『ともに頭を悩ませて考えてほしい』というのが当事者・家族の願いだと思っている」と言われています。



共同意思決定は、医師が「教える人」、患者さんが「教わる人」という関係ではなく、お互いの知恵を出し合って「本人の生活を良くしていくために、本人の医療をどのように進めていくか」を一緒に決めていく対話のプロセスです。精神疾患を体験された夏苺先生と一緒に、どうすれば精神科医療における共同意思決定が実現できるのか考えていきましょう。

＼こんなお悩みありませんか？／

- ✓ 「薬の種類や量について、本当は相談したいけれど言い出せない…」
- ✓ 「家族として、本人の意思をどこまで尊重すればいいのか迷う」
- ✓ 「先生に任せるだけでなく、一緒に治療を考えていきたい」

先着90名

講師 **精神科医 夏苺郁子氏**

(静岡県やきつべの径診療所)

日にち **2026年3月29日** (日)

時間 **13:30～16:00 (受付13:00)**

場所 **奈良市生涯学習センター 3階学習室**
駐車場はごくわずかです。公共交通機関をご利用ください

お申込 「①お名前」「②所属」「③電話番号」を記載の上、
FAX 0742-51-5506 または、
<https://forms.gle/j9U6U4TmB61rjvJEA> へお申し込みください

締切 **3月17日(火) 23:59** お申し込みQRコード→
(先着90名に達した時点で、申込受付を締切ります)



「共同意思決定」という手法を学びながら、診察室で自分の希望をうまく伝えるコツも身につけていきましょう。



お問合せ先

主催 奈良県精神障害者家族会連合会 (まほろば会) ☎ 090-9213-2731
共催 奈良ともしび会

<https://nara-mahorobakai.org>

参加費：無料
家族に限らず、どなたでもご参加いただけます